

岐大通 2010



today's guest

徳島ヴォルティス

2009 J2第9位
J2通算対戦成績 :4勝 1分 2敗

- 2009成績
第0節 09/03/29 徳島 3-1 岐阜
第2節 09/06/24 岐阜 3-0 徳島
第5節 09/12/05 岐阜 2- 徳島
2010成績
第1節 10/05/05 徳島 4-0 岐阜

2010J2 順位表 第2節

(※消化試合が1少ない)
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の
戦績(岐阜から見て)

1	柏	64p	+36	55	19	H
2	甲府	56p	+24	55	31	H
*3	福岡	49p	+23	46	23	A
*4	千葉	45p	+21	49	28	A
5	東京V	43p	+11	35	24	H
*6	横浜FC	39p	+7	44	37	A
*7	鳥栖	39p	+3	32	29	A
8	熊本	39p	-6	28	34	A
*9	徳島	38p	+4	42	38	A
10	栃木	37p	+3	32	30	A
11	岐阜	36p	-9	24	33	---
12	愛媛	35p	-3	23	26	H
13	札幌	31p	-7	27	34	H
*14	水戸	31p	-8	22	30	H
*15	草津	29p	-14	24	38	H
*16	大分	27p	-11	31	42	A
*17	岡山	21p	-22	15	37	H
18	富山	20p	-26	29	55	H
19	北九州	14p	-26	17	43	A

次回 HomeGame

第3節
横浜FC戦

10/30(土) 16:00
@長良川球技メドウ

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C 岐阜大好き通信(岐大通)
10/月号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田 醸造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での飛行を目標にしますので、よろしくお願致します。

苦手のアウェーで、中2日の試合で勝ち点1は、及第点。 札幌0-0岐阜【第2節】

特に前半はまるで守備練習のような試合でしたね。これを天皇杯の時にやって欲しかった(笑)。ともあれアウェーで勝ち点1ゲットして結果オーライですか...次戦に期待します。(ミスター珍道)

F C 岐阜はアウェーで札幌と対戦し0対0で引き分け。村尾選手を中心に相手を無失点に抑えたのは大きいね。上位進出のためにサポーターは熱い応援を! F C 岐阜頑張れ!(ハマッチ)

当日は現地で応援していました。スコアレスドローでしたが、負けなくて良かったというのが素直な感想です。数少ないチャンスを生かせれば...と思いますが、圧倒的に負けが多いアウェー戦で無失点ですんだのは収穫だったのでは、と思います。あとは、決定力の向上ですが、残り少なくなったリーグ戦での攻撃陣の更なる奮起を願っています。(ブラウ@翠魂)

相手の札幌は前節で主力2人が退場して出場停止、一方岐阜のスタメンは、前節大分戦と同じ。勝ち試合のスタメンは変えない、という定石もあるが、これまで守備の要だった野田や吉本は戻すかも思っていたので、少し意外な感じ。

試合に関しては、やはり中2日でのアウェーで疲労も相当溜まっていただろうし、ピッチ状態が酷く、また風も強く変則的に吹いていたためだろうか。中盤から前線でのパスが全然繋がらないし、足下でボールが落ち着かない。自分たちのミスでボールを奪われて攻撃が終わってしまうので、前半のシュート数はゼロ。一方、守備に関しては、しっかりと集中しており、きちんとシュートブロックもできていたのは良かったと思う。

「とりあえずクリア」的なボールで攻撃に繋がらない事も多かったが...。2度ほど失点してしまったかと冷や汗をかくシーンもあったが、いずれもオフサイドだった。後半になると、風上に立ったのも影響したのか、攻撃の形が徐々にできてくる。後半に8本のシュートを撃った積極性は素晴らしかったと思う。すべてがP A外からのミドルシュートってのも、まあ全然撃たないよりは評価できると思う。でも、シュートのほとんどが枠を外してるってのは、もう少し何とか...(苦笑)。

結局、決定的なチャンスは作れないまま、試合はドローに終わった。最後まで堅い守りで相手の決定機をほぼゼロに抑えられたことや、前節からゴールを守るG村尾が無失点だった事など、選手の健闘を讃えたいと思う側面と、攻撃面の乏しさに不安を感じる側面とがあった試合だった。しかし、今期はアウェーで3勝10敗と圧倒的に苦手にしており、勝ち点1でも納得しなくてははいけないのかもしれない。一方、ホームでは8勝3敗2分と調子が良い今年のF C 岐阜。アウェーでは惨敗だった徳島にもホームでは勝利してくれと信じている。そのために、選手を声や拍手で後押しする『長良川劇場』を作り出したい、僕はそう思っている。(ささたく)

雨の厚別は寒かった。タクシーの運転手さんが「この夏はヶ月以上30を越える日が続いて、こんなことはボクが知る限り一度もなかったんですが、先週からいっきに冷え込んで、なんというか秋を飛ばして冬が来たという感じですね。」と言ったのを身をもって知らされたわけだけど、試合前にはなんとか雨も上がってくれて、サッカーの試合をやるには絶好のコンディションのはずだったが.....。

この試合、なかなか感想が難しいけど、できうる限りのことをやって、現状でベストの結果を得た、というところかな?やはり、中2日の飛行機遠征は厳しいようだ。パフォーマンスは大分戦とは比べものにならず、前半はシュート皆無。それどころかシュートを撃てるような場面すらなかった。後半こそ何本か撃ったものの、札幌G高原を慌てさせるような場面はナシ。ただ、後半開始直後のシュート、最近流行り(笑)のキックオフからの特攻で洗一がシュート。アレが決まっていればかなり面白くなったのにね。あと、洗一・優大を下げて、正吾・染矢のチビッコ2トップにしたんだから、とことん裏狙えばよかったんじゃないかな?

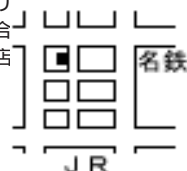
結局、終始札幌のターンだったけれど、守備陣がよくしのぎきったと思う。ゴールネットは2回ほど揺らされたけど、いずれもオフサイド。狙って取ったんだしたら素晴らしい。それから、村尾は二試合連続のシャットアウト。キックについては残念な場面が散見したけど、とにかく結果を出してる。次節も見てみたい気がするけど、どうだろう?ポジション争いが熾烈になってきたね。(ぐん、)

ALADDIN

何も無い店だけど...心の花が咲く...
何も無い店だけど...心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合
アットホームな韓国料理店
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅
から徒歩3分。
休:日曜日
(今日はお休みです)



Living in Woods

本庄工業株式会社
http://www.honj-woodream.com/

村尾のJデビュー戦で会心の勝利。 岐阜2-0大分【第2節】

1年前、大分はまだJ1にいた。筆者もそうだが、大分サポの誰もが、ここまで大分の順位が沈み込むとは思ってもしなかっただろう。多くのサッカー専門誌でも昇格候補に挙げられていたし、各年代の代表経験者が5名はいる（韓国人選手は不明）。しかし、いくら個のタレントを抱えていても、チーム力に昇華できなければ結果としてついてこないということだろう。J2にはJ2の戦い方があるということだ。さて、ゲームはあいにくの雨の中でのキックオフ。前半11分にPKという形で先制点を奪い、大量点を奪うときのセオリー、「15分までに得点すること」はクリアしたので、追加得点を期待したのだが、どうにも流れをつかめない。ふと、あるサポーターと話していたことを思い出す。「メドウになってからは今まで雨になったことはないね」という話だ。

アウェーに全て行っている訳ではないので、そのときの天候までは知る由もないが、今シーズンの岐阜のゲームは晴れか曇りが多い。選手と言えども雨の戦い方を忘れてしまうのだろうか？ 目立ったのがファーストコントロールのミスだ。ピッチは水を吸っているし、ボールも滑るのでトラップが重要になるのだが、ミスが目立った。また、風も強かったため、前半大分が追い風の時は随分苦しめられた。それでも41分、押谷が追加点を奪い、この日はサスペンション（出場停止）の恭平に代わって出場のG村尾が、彼に勝るとも劣らないファインセーブを見せ、ゼロで前半を折り返す。

後半は雨も止み、幾分戦いやすい条件にはなったかと思うが、決定的チャンスはなかなか作ることが出来ない。逆に度々大分にピンチを作られ、この日大活躍の村尾に助けられるという展開。何とか勝利は手に入れたが、不満が残るのは、4-0、5-0に出来たような試合だったからだ。自分自身が雨の中でそんなにプレーした経験がそんなにある訳ではないのでなんととも言えないが、プロである以上、もう少し対処して欲しかったかな、とは思う。

それにしても今日の村尾のプレーには脱帽だ。Gはポジション柄、ケガやこういったアクシデントがない限り、出番が回ってくることはまず無いが、恭平に負けじとゴールを死守した。そのプロ意識はすばらしいの一言だ。

そして押谷。2得点もさることながら、後半2人のディフェンスの門を突破した、全盛期のロナウジーニョを彷彿とさせるようなプレーがあった。前々節の北九州戦でもドリブルで妙技を披露してくれたが、1人で打開できる選手というのは、それだけでチームの切り札になると同時にチケット代を払う価値があるというものだ。あとは押谷に続く選手が出てくれれば、岐阜はもう一段階上にいけるのではないか。

（試合後浜あゆのセミヌードが見たくてViViを購入した男）

F C岐阜は長良川で大分と対戦し2対0で勝利。前半に押谷選手の2ゴールが決まり、そのリードを守り切った勝利。村尾選手もよく守った！ 上位進出のためにサポーターは熱い応援を！ F C岐阜頑張れ！（ハマッチ）

ホントに大分はどうなっちゃったんだろう？ しばらく見ない間にびっくりするくらいの変り様。降格前の陣容からレギュラークラスが半数以上抜けたとはいえ、第2節で対戦した時の大分は迫力と渋太さを十二分に発揮していたように思ったのだが。もちろん、あの試合も洗一の同点ゴールが取り消されなかったら（今でもオフサイドじゃないと信じてる。録画を見直してもそう思う。）、岐阜が勝っていたはずなだけだ。

それはともかく、あの試合のスタメンから警告累積で菊地が体調不良で東が欠場。前回得点を決められたキム・ポギョンもベンチスタートということで、苦しい布陣だったと思う。しかし、高松・森島という強さと高さがあってポストになれて、肉弾戦上等のFWを先発させながらサイドからのクロスを上げるでもなく、ロング・ボールを入れるでもなく、いったいどんな作戦で試合に臨んだのか聞いてみたいような気がした。これでは下位に低迷するのも仕方がないか。

そんな中でただひとり、気が利いたプレーというか、攻撃にアクセントを加えていたのが34番。試合前の選手紹介でも

無視しようと思っていたが、気がついたら拍手してしまっていた（苦笑）。バクスタでは多くの岐阜サポが同じように拍手していた。きっと、メインやサイドもそうだったんだろう。大分が放った数少ないシュート。前半はたぶん高松のヘディングだけだったと思うが、そのシュートのクロス上げたのが梅田高志。今の岐阜に彼がいてくれたらなあ……。きっと、浮き足立つような場面で流れを落ち着かせてくれたんじゃないかな？ と、ついつい見とれてしまっていた。

そんな大分相手に、結果は2-0の文字通り完勝。まちがいに、今季ここまでで一番の試合。しかも、ここまで全試合出場の恭平、さらに吉本が不在の中での完封。久々の秀人もよくがんばってくれたが、なんといってもJデビュー戦を完封で飾った村尾に心からの祝福と感謝を！ 緊張からかキックが思うようにいけなくて、前半は何度となく「あ～～～」というめきが聞こえてきたけれど（爆笑）、何度もビッグ・セーブを決めてくれた。試合後の挨拶も初々しい彼が、この試合をきっかけに大きくブレイクしてくれることを期待したい。

この試合で、最高の誕生日を自ら演出した押谷については、他の方が書いてるだろうから一言だけ。「できれば、代表には呼ばないでください。お願いします、関塚さん。」今抜けられると、とっても痛いんですけど？ でも、この試合を見たら呼びたくなっちゃうかな。（ぐん、）

F C岐阜ユース（U-18）、 Jユースカップの初戦を戦う。

9月26日に中津川でJユースカップの予選リーグの試合「F C岐阜U-18（以下岐阜ユース）対アビスパ福岡U-18（以下福岡ユース）」がありましたので観戦してきました。

JユースカップとはJ1・J2の34クラブ（カターレ富山、ファジアーノ岡山、ギラヴァンツ北九州は不参加）を8グループに分け、各グループ内でホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりの予選リーグ戦をまず行います。そして予選リーグを通過した16チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームを加えた合計20チームによる決勝トーナメントを行い優勝クラブを決定するという大会で、今年で18回目を迎えます。岐阜ユースは昨年初出場しましたが、いずれの試合も大量失点で敗れ、予選リーグは6戦0勝6敗でした。そして実は福岡ユースも昨年の対戦相手でした。試合開始の30分前に中津川公園競技場に到着すると想像していた以上の観客数（100名くらい？）がありました。大半は岐阜ユースの選手の関係者だと思われそうですが、それ以外のお客さんも居た模様。9月初めの甲府との練習試合のポスターにもこの日の試合の事も載っていたので、その効果が出たのかも知れませんね。嬉しい事です。

試合は14時にキックオフ。前半は互角の戦いぶり。福岡ユースに押し込まれる時間帯も有りましたが、岐阜ユースの時間帯も長く、先制されはしましたが岐阜ユースもすぐに追いつき、1対1で前半を終了。ハーフタイムには「ひょっとしたら今日の試合は勝てるかも？」と秘かに思っていました。後半。お互いの選手に疲れが見えてくるとどうしても地力の差が出てきてしまい、時間の経過と共に福岡ユースが中盤を支配するようになります。又岐阜ユースの集中力の切れたようなミスも有り、ポンポンと失点してしまいます。終了間際に岐阜ユースも1点を返して意地を見せますが、その直後にトドメの1点を取られ万事休す。2対5で敗戦となりました。でもね、昨年の手も足も出ない大きな壁のような閉塞感はなく、彼らのこの1年間の成長が感じられる試合だったと思います。

次は10月16日にアウェーでセレッソ大阪U-18と対戦します。福岡ユースよりも強い相手に間違い無く、かなり辛イ試合になってしまうかも知れませんが、選手達は果敢に戦ってくれると信じています。多分現地観戦は出来ませんが、岐阜の地から念を送って後押ししたいと思います。

頑張れ！ F C岐阜ユース！！（シュナ）